本テキスト（台本）は設定情報やネタバレを含みますので、それでも良いという方が閲覧ください。

◎タイトル
耳かき&耳舐めで何もかも忘れさせてくれる彼女
（当初のタイトル：不老不死の世界と忘却の少女）

◎DLSite 上のタイトル
【ささやきメインでぐっすり眠れる】耳かき&耳舐めで何もかも忘れさせてくれる彼女【CV:みやぢさん】

◎コンセプト
ミステリアスな少女とのあまあま空間・共同生活楽しみながら耳なめ中心の癒やし系音声作品

◎レーティング
R-15 作品

◎世界観
これは近未来の話。
人類は少子化の対策としてアンチエイジングの技術が発展した結果、半永久的な不老不死の実現に至った。
趣味や仕事に没頭したり、人類の繁栄に貢献する一方で生きるのに飽き自らの記憶を敢えて消して新しい人生をスタートするという記憶の抹消プログラムが法で認められることになる。
しかし、記憶の消去には家族、友人との関係を一方的に断ち切るという倫理観モラル・社会問題も表面化してきた。
実際に記憶を消すことができるのは人工生命体で「少女」
彼女たちは利用者に触れることで記憶を消去することができる。
そして記憶を消去した一週間は、利用者が記憶の混乱をきたす恐れがあるので生活を共にすることが義務付けられている。

本作はその記憶を消去される青年（あなた）と消去するリセッター（人工生命体）の少女の物語である。

◎キャラクター
SARA330:（サラ）CV:みやぢ様

初期型の旧式モデルの記憶抹消用人工生命体。リセッターと呼ばれている。
モデリングした女性の名前を取ってSARAとつけられている。

新型モデルは社会規範などを遵守することが記憶を消す利用者との間にトラブルが発生しずらくするため、より機械的に教育されている
人工生命体であるが、感情もあり少なくとも本人は自分が人間であると思っている。

利用者に足を踏み込み影響を与えないことがリセッターの規範とされているため、無機質に接しようとするが人に興味があるため介入をしてしまうことがある。

積み上げてきた記憶を消したいという人間のことを理解ができず悩んでいる。
リセッターの人権は制限されているため人権問題に発展したこともある。

主人公の少女はややサディスティックな面を見せる人工生命体であるがバッチリ感情ある。

164/48kg
84 58/79
胸サイズ（D~E）
髪色：銀　長髪
すらっと細身。

あなた：
254 年という時間を生きてきた男。
見た目は20歳ぐらいに見える。
出生や・婚姻歴については明らかにされないが、幼いとき自分の趣味を押し殺し周囲に合わせてきたことを悔いている。

テーマ：人の期待に応えない。自分の人生を生きる

トラック：全4トラック構成

90分〜120分程度の作品の予定

実際の長さ：111分

トラック1.

水辺の恋人　耳かきボイス

// 自然の音。川、流れる

// 風鈴

// 左耳元で（半ささやき、半有声音）

ねぇ…。ねえ…

起きてください。

ふーーーーー。

目を覚ましましたか？

おはよう御座います。

サラですよ。あなたの彼女です。

// 耳かきスタート

ふーーーー。

ボートを漕いでいたんですが疲れて眠ってしまったんです。

ふーーーー。

昨夜も遅くまで起きていたんですか？

ふーーーー。

くすぐったいですか？

寝ている間もこうしてお耳を綺麗にしてあげてたんです。

こり…こり…こり…こり…こり…こり…こり…

こーり…こーり…こーり…こーり…。

ん…ふぅ…はぁ～　はぁ～　はぁ～。

ほ～り…ほり…ほり…ほり…ほり
ほ～じ…ほじ…ほじ…ほじ…ほじ…、

ん…ふぅ…どうしましたか？

まだぼんやりしますか？

ふぅ…ふぅ…ふぅ…はぁ～。

ん…ふぅ…ふぅ…はぁ…はぁ…はぁ…。

ふふふ…それはそれは…。

じゃ…思い出さなくてもいいんじゃないですか？

かきかきかきかきかき…
かきかきかきかきかき…

ぐーる…ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…。

／／ リセッターの役割。新しい人生に馴染むように社会と調和させること
／／ 悪意があって言っているわけではないです。

忘れたということは、
それは…あなたにとって取るに足らなかった。たぶんそういうことでしょう…。

／／ でも、サラ自身は納得していない。生まれながらにして、リセッターという役割を背負わされ
／／ 何年も生きて自分の人生の選択ができる人に対して羨望感を感じています。

ふぅ〜〜〜。

しゃかしゃかしゃかしゃか…

ふわっ　ふわっ…　ふわ…ふわっ…ふわっ…ふわ…。

少し肌寒いですね…。

／／ 正面へ
こちらへ…。

／／ 胸元へ顔を寄せる。

／／ だんだん右耳元へ
ぎゅ…。
風邪を引くといけませんから…。

／／ 片耳をおっぱいで圧迫したまま耳かきする
赤くなってます。
人の目が気になりますか？
ええ…見られてますね。
でも…恋人ですから…

何もおかしなことをしてませんよ…私達／／

ふーーーー。

ほら…こちらの耳も…見せてくださいな…。

ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…。

ふーわ…ふーわ…ふーわ…ふーわ…。

柔らかい…？　ふふ…何が？　何が柔らかいですか？
…あなたの口から聴きたいですねぇ。

はーーーー。

言ってみてください…。

ふーわ、ふーわ…ふわふわふわふわふわ…。　ふふふ…。

言わないならもっと過激なことをしてしまいそうですよ。
たとえば…。今私の鼠径部にあたっているあなたのコレ…
周りの方々にも見えるようにしたりとか…。

くすくす…。

かちかち…かちかち…かちかち…／／
かちこち…かちこち…かちこち…。

ええ…からかってます…。面白いですからね。

ふーーーーー。

いってください…。

あなたのお口から、聞きたいなぁ…。おっぱいって…。いってごらんなさいな…
ふふ。

ふーーーー。

ふーーーー。

はーーーー。

はーーーー。

初心でお耳も弱くて…お可愛らしいですね。

びくびく…びくびく…びくびく…びくびく…。

震えてばかり…。

ね…さっきから人の目ばかり気にしておられます…。

まずい、まずいって言いますが…

でも、どうですか？

あなたを非難しようとする人はいますか？

ふーーーー。

誰もあなたのことなんて見てないです。

おっぱいに挟まれているあなたを見て羨ましいという人はいても…

あなたのことを気にしているのは、あなた自身だけです。

そんなものですよ…世間なんて。

ふーーーーー。

くりくりくりくり…くりくりくりくり…。

まぁ、調子に乗って人の胸を揉んだり、下半身を触ったりするなら警察を呼ばれるかもですが、あ…

試しに揉んでみますか？おっぱい…。

//　だんだん口調が柔かくなる。

ふふ…怒って黙ってしまわれました。

ふーーーーー。

…気にし過ぎってことですよ。

くりくりくりくり…くりくりくりくり…。

ふわふわ　ふわふわ　ふわふわ　ふわふわ

だから、人は迷ってしまうんでしょうね。

はーーーーー。

はーーーー。

自分がわからなくなってしまう。あなたのように。

（吐息）

たとえばほら…

この水面に私が立てた波紋がある…

それとは別にあらゆる方向から別の波紋が押し寄せてきます。

より強い波が来ると小さくて弱い波は飲み込まれてしまい、やがては見えなくなってしま

います。

やがて荒波をおそれ、風を起こさなくなる…
周囲を見て　同じ向き、同じ力加減でしか怖くて進めない…。

ん…なんですか？

お前は誰だって…。

恋人ですよ…あなたの。ふふふ…。

こんな胸元に抱き寄せてくる女の子…彼女以外の何者でもないでしょ…

んぎゅ…　ふふふ…。

あなたはきっとお仕事で疲れてるだけです…。

今は余計なことは考えず…二人だけの時間を楽しみましょう。ね…

ふーーー。

ふーーーー。

ぐーる…ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…ぐる…。

ぐるぐるぐるぐる…

しゃかしゃかしゃかしゃか…しゃかしゃかしゃかしゃか…。

くすくす…。

体が軽いでしょ…。

何も思い出さなくていいんです…。

今…この時を楽しみましょう。

ふ～～～～。

こーり…こーり…こーり…こーり…こーり…。

ちゃぷちゃぷちゃぷちゃぷちゃぷ…
ちゃぷちゃぷちゃぷちゃぷちゃぷ…

ほら、いつの間にか周囲に溶け込んでいます。

私達を見ている人もいなくなりました。

…所詮こんなものですから…。

あなたは…自分の思うままに生きればいい…。

は～～～～～。
は～～～～～。

さぁ、漕ぎ出しましょう…。

新しい道に向かって…。ね…。ふふふ…。

トラック２
脳ほぐし耳マッサージ

／／　おふとんの中

おはよう御座います…。

どうしたんですか？
あたまがぐるんぐるんします？

お酒も飲んでないのに二日酔いですか？
お風呂入れてきましょうか？

まぁ…ふとんから出たくないだなんて子供みたいなことを。
なら…私も一緒に朝寝坊しましょうかね…。
よいしょ…。

／／　密着して添い寝する。
／／　右の首元へ

んっ／／　すごい寝汗…。
首元…いいですか？
ん…れろれろ…れろれろ…れろれろ…。　じゅるじゅるじゅる…。

／／　耳元へ

可愛い声ですね…。　もっとしてほしい？
しょうがないひと…はぁ…はぁ／／

れろれろ…れろれろ…んちゅ…れろれろ…。

（首舐め）

／／　また右耳元へ

しょっぱい…。
少しは気が紛れますか？

…なんですか？
今度は耳舐めて欲しい？

／／　２回同じリセッターが記憶を消そうとしても耐性ができて記憶が消えない。

…。まぁいいですよ。もう時間も経ってるし耐性ができているでしょうから…。
いえ…なんでも。

（耳舐め）

はぁむ…ん…れろれろ…れろれろ…れろれろ…。
はむ…はむ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…。

／／　今日で７日目。サラは明日にはここをいなくなることが確定している。

だっこしてくるんですね…。
大丈夫ですか…そんなんで…。

ん…れろれろ…れろれろ…ん…。　ちゅるちゅる…。
ふ～～～～。

ちゅ…ちゅ…ん…れろれろ…。　れろれろれろれろれろ…。

（耳舐め）

ふふ…反対の耳は私の指でぐりぐりしてあげます…
両耳マッサージ…　わたしの舌と指／　耳の奥…深く犯しちゃますね。

ぐりぐり…ぐりぐり…ぐりぐり…
れ～ろ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…。

／／依存されることが心地良いと思うサラ。一方で明日以降、この男は新しい一歩を踏み出せるのかという不安を抱いている

そうだ…指に、ちゅ…ちゅ…ふふ…唾液をにじませて…
…この方がエッチですね…。
うりうりうりうりうり…うりうりうりうりうり…。
れろれろ…れろれろ…れろれろ…。

／／せつなそうに

とろけてしまいそうですか？
れろれろ…れろれろ…れろれろ…。
目が潤んでる…。とても幸せそうです。

ん…れろれろ…れろれろ…。あーむ、あーむ…れろれろ…。

／／記憶が消える前の彼の姿を思い出した。

指…絡めて…どうしたんですか？
ふふ…変なの…。私が寂しそうだなんて…そんなわけないじゃないですか…。

／／指に唾液を二度つける
んちゅ…ほら、両耳を指でぐりぐりしちゃいますよ…。

ぐりぐりぐりぐり…ぐりぐりぐりぐり…
ぐりぐりぐりぐり…ぐりぐりぐりぐり…。

ちゅ…ちゅ…。今度は親指…。

うりうりうりうり…ぐるぐるぐるぐる…
うりうりうりうり…ぐるぐるぐるぐる…

今度は…小指…ふふふ…

くにくにくにくに…　くーにくにくにくに…
くにくにくに…くにくにくに…

なんですか？ 舌よりも気持ちいい？
あらら…寂しいことをおっしゃる。

はぁ～～～

はぁ～～～

// 左耳元へ

ふ～～～

ふ～～～。

今日は一段と甘えん坊さんですね。
ぎゅってしてくる…。どうかしたんですか？

ええ…。そうですか…。

7日前にあなたに何をしたのか…思い出されたんですね。

そのほかのことは？

れろれろ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…

思い出せない…。
でしょうね。それが普通です…。

れろれろ…れろれろ…れろれろ…

// だんだん正面至近距離

正直驚いています。思い出すなんて初めてだから…。
でも…なぜだか少しほっとしています。

ふ～～～～～。

こっち、来てください。

私の胸に耳を寄せて…。

そう…。

// 心音

生きてるでしょ…。
私も…ちゃんとした人間ですからね…。

// 左耳もとへ

// 反対の耳をぽんぽん叩く

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…。

もう少し…。もう少しだけこうしていていいですか?

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

ええ…少しずつお話させていただきます。

あなたのこと。私のこと…。

全ては思い出せなくても…あなたがこれからどうやって生きていくか…

答えが出すためのお手伝いがしたい…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

(耳舐め)

トラック3　リセットの耳舐め

※時系列的にはトラック1より前の話です。

／／　チャイムのなる音

／／　正面できるだけ遠く

こんにちは。

あの、本日は記憶抹消プログラムをご希望ということでお伺いをしました。

／／　ドアが開く音

ありがとうございます。

施術を行う前にお話を伺いたいのですが、上がってもよろしいでしょうか？

／／　奥へと

改めて、よろしくお願いします。

あなたは今年で254歳、
ご妻帯者は現在おられないと伺っております。お間違いないでしょうか？

いえいえ、成人したてぐらいお若く見えますよ。
アンチエイジング技術の賜物ですね。

／／　隣へ

／／　左前１５ｃｍ

本当によろしいのですか？
1度記憶を消せば、あなたを産んで育ててくれたご両親や、友人のことも二度と思い出せな

くなるのですよ？

…。

わかりました。

では、こちらの書類にサインをしてください。

…ありがとうございます。

では、そちらのベッドに横になってください。

// 横になる

お隣失礼しますね…。

// SARA が隣に寝そべる

ご存知かとは思いますが…
記憶の消去は、私達リセッターの体液をヒトの体内に流し込むこと。
一般的なのはキスをしたり、耳を舐めたり…性行為をしたり…

施術方法にご希望はありますか？

…耳なめ…ですか？

一番ソフトなヤツで？…かしこまりました。

失礼します…。

はーぁむ。
れろれろれろ…。
ん…れろれろれろ…。
あむあむあむ…ん・　れろれろれろれろ…れろれろれろ…。

どうされたのですか？赤くなられてますけど…

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

／／ 彼女は厳密に言えば人ではないが人間とほぼ同等。
／／ 本人は人間だと思っているし感情も性欲もある。

なんでもない？　そうですか／／？

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

／／ 男は人懐っこく、甘えるように抱きしめる。

なんでもないなんて…そんなふうには見えませんけど／／？

／／ 男は記憶が消えることを怖がっているように見えない。

あ～む…あむあむあむ…れろれろれろ…れろれろれろれろ…／／

可愛い声…出されてます…。　れろれろれろれろ…。

はぁ…はぁ…私もお背中に手を回してもいいですか？

／／ そうしてほしいと男はいう

はい…／／　ぎゅ…。ん…。

れろれろれろれろ…ん…れろれろれろれろ…。
れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

／／ だんだん正面至近距離へ

はぁ…ん…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

記憶が消えるというのに、なにか未練はないんですか。

／／ だんだん右耳元へ

怖かったり、感慨深いものがあったり…そういう感情はないんですか？

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

２００年も生きてるとそうなんですかね…。

脈があまりに穏やか…あっさりしている。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

// 人のわがままのせいで、記憶を消すという重い宿命を背負わされている

私はあなたたちが記憶を消したいなんて全く理解出来ないです…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

はぁ〜〜〜〜

// 以下舐めながら喋ってください。ろれつ悪くしてください

いったい…どんな気分なんでしょう…。

記憶が失われる…それはもはや死と同じことなのではないのかと思います。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

ん…れろれろれろれろ…ちゅ…ちゅ…ちゅ…

不老不死が実現してから様々なライフスタイルが生まれてきましたよね。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

自分の好きな仕事や研究に勤しんでこれまで以上に飛躍的な成果をあげたり

最愛の人といつまでも愛を誓い暮らしたり趣味に没頭したり

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

はたまたアンチエイジングを否定し、本来の寿命を全うする人もいれば。
中には人生に飽いてあなたのようにセカンドライフ…記憶の消去を希望する人もいたり…。

…わからないものです…。

その為に私達のようなリセッター（人工生命体）が造られたんですけどね。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

はぁ～～～～

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

// 大事なことなので、ここからはろれつをよくしてください

ちなみに…記憶が消えてからの７日間は利用者がパニックにならないように
お世話をするサービスを付帯するようにしています。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

そのときは、きっと私のことも忘れているでしょうが…

ん…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

あなたは私にどんな関係を希望されますか？

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

友人、兄妹、メイド。
１週間限定ですが…好きな役を演じながらお世話をして差し上げます…

ん…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

はぁ…。恋人…ですか？
できなくはないですが…。
物好きですね…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。
あーむ…あむあむあむ…。
れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

／／ だんだん正面至近距離へ

聞いていいですか？

…なんでですか？

どうして記憶を消されるのですか？

これまで２５０年生きてきた人生を、今日たった一日で失って…その…いいんですか？
あなたは…。

わかりました。

あなたの決心を受け止めることにいたします。

／／ 左耳元へ

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。
ん…れろれろれろれろ…。

差し出がましいことを聞きました。

はぁ～～～～。

// だんだんゆっくり

さぁ、力を抜いてください。

ん…れろれろれろ…れろれろれろ…。

意識を遠くへ…遠くへ…。

は～む。　あむあむ…あむあむ…れろれろれろれろ…。

あなたの身体は海の中へどんどん沈んでいく…

そう…海です…。

// 海の音

（左耳もと）ぶ濁点です

ブクブク…ブクブク…ブクブク…

ブクブク…ブクブク…ブクブク…

（だんだん右耳もとへ）

ブクブク…ブクブク…ブクブク…

ブクブク…ブクブク…ブクブク…

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

（右耳舐め 50 秒）

//←これでもかというほどゆっくりめに、寝かしつけるようにお話してください。

海底は深く…どこまでもそこが見えません…。

広く…深く…暗く…。　終わりない深淵。

沈む…沈んで…。溶けて…還る。

…あらゆる命が生まれた場所…。

れろれろれろ…れろれろれろ…。

あなたたちが生き物がやがて還る場所。

れろれろれろ…れろれろれろ…。

三途の川は誰かが命の終わりに見た黄泉の国の光景の一つでしょう…。

れろれろれろ…れろれろれろ…

川を下ると必ず海に通じます…。

プクプク…プクプク…プクプク…

プクプク…プクプク…プクプク…

（右耳もと）

プクプク…プクプク…プクプク…

プクプク…プクプク…プクプク…プクプク…

（プクプク）

／／左耳元

はぁ〜〜〜〜〜

はぁ〜〜〜〜〜

ふ〜〜〜〜〜〜

ふ〜〜〜〜〜〜

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。　れろれろれろれろ…

／／　（左耳元）

ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…

ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…

／／　（だんだん右耳元）

ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…

ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…ふわふわ…

（ふわふわ）

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

忘れましょう…

全ての記憶…　思い出…。

はむ…はむ…はむ…はむ…ん…　ふぅ…ふぅ…ふぅ…。

全部を洗い流して…。

昨日のあなた…。

１年前のあなた…。

１０年前のあなた…。

１００年前のあなた…。

２００年前のあなた…。

…。

全ての因果を今のあなたから引き離すのです…。

プクプク…プクプク…プクプク…プクプク…

プクプク…プクプク…プクプク…プクプク…

（だんだん右耳もと）

プクプク…プクプク…プクプク…プクプク…

プクプク…プクプク…プクプク…プクプク…

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

ｍ

今頭にある子どもの頃の記憶…

それはもう…あなたではないです…。

全部捨てるんでしょ？

友人も、家族も、愛した人も…。

ねぇ…。どうしたんですか？　怖くなったんですか？

// 右耳元へ

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

ふふ…。安心してください…。

あなたから引き離れたとしてもそれが失くなるわけではない…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

何もかも忘れたとしても、誰のことも思い出せなくても…

全ては時間軸…過去も未来も超えて繋がっています。

いつでも…どこでも…誰とでも…繋がることができる…。

だから、安心して忘れていいんです…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

あなたは目覚めたとき…ただ、そこに有るものに『関心』を寄せればいい。

それが全ての始まりです。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

おやすみなさい…。

あむ…あむ…あむ…。れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

（耳舐め）

トラック4　やすらぎのひととき

トラック2の続きになります。

／／心音

／／おっぱいの圧力

／／左耳元

ぎゅ…よしよし…。

彼女の胸の心地は悪くないですか？

ふふ…綺麗に消えてるでしょ…。何もかも…。

自分が誰なのか…何者なのか…

仕事人ですからね…わたし。

まぁ、少しだけ寸前の記憶が残ってたのは予想外でしたが…

ぎゅ…ぎゅ…ぎゅ…

ふぅ…ふぅ…ふぅ…

汗…すごいです。

夏なのに…肌寄せてくるから…。

はぁむ…あむあむあむ…。

大丈夫。記憶の消去は一度きりです…。さっきから舐めてるでしょ…。なんともないでしょ。

あーむ…れろれろれろれろ…。

ねぇ…。

思い出せなくて震えてるんですか？それとも…。

…わからない…？

／／ 冗談ぽく

私が本当の彼女ではないことがショックだったとおっしゃってくださることを
少し期待してたんですが…どうやら違ったみたいです。

それもある？

ふふ…遅いです。

むにゅ…。
ね…。おっぱい…吸ってください…。
違います。

ニオイ…すぅすぅしてって言ったんです。
お鼻で…。そう…です。ん…ふぅ…ふぅ…あ…／／
これ…思ったよりエッチですね…ふふ…。

あぁ…こしょばくて…きもち…いいかも…。あ…はぁ…はぁ…
あなたの口の感触…鼻の息が胸にかかって…ドキドキします／／

ん…はぁ…はぁ…はぁ…すぅ…すぅ…ふふふ…。こしょばい…。

２３８歳年下の女の子に甘えるって…どんな気分なんですか？

なんとも言えない　やらしいきもちになるんでしょうか？
あるいは…記憶がないと年上お姉さんに甘えてる気分になるんですかね？

／／ だんだん正面至近距離へ

それとも…。
人工生命体の私には…そんな気も湧かないのでしょうか？
やっぱり私はモノでしかないんでしょうか…。

すいません…。覚醒したばかりですのに…。

よしよし…。

　／／だんだん左耳元へ

…ぎゅ…もっと嗅いでください…／／はぁ…はぁ…そう　もっと…ん…はぁ…

ニオイしますよね…汗の…
ほんとは　恥ずかしくて逃げ出したいぐらいなんです…。
でも…なんでもいい…覚えていてほしい…。
わたしのこと…。はぁ…んっ…はぁ…はぁ…。
ん…あ…。そう…。もっと…ん…はぁ…はぁ…

ふふ…すごく擦り寄せてきますね…おっぱい。
最後…ですもんね…。

残念でしたね…。彼女じゃなくて…。

はぁ…はぁ…はぁ…よしよし。

れろれろ…れろれろ…れろれろ…ちゅ…ちゅ…ちゅ…。
　／／シリアスな話ですがあまり感情的にならずどちらかというと甘い声で。
／／、ゆるく、ゆっくりと

ねぇ…覚えてますか？

なぜ、あなたが記憶を消したいと願ったのか…。
…記憶が消える前にあなたが言った言葉。
「人の目を気にせず生きれる人間になりたい」
あなたは私にそう言ったんです。

あーむ…あむあむあむ…れおれおれおれおれお…

そう…。そのためにあなたは記憶を消したんです。

２５４年も生きている人の言葉とは思えませんでした…。

覚えてないですか？　忘れてしまったんですか？

これまでの皆と違う。あまりに違いすぎます…。

はぁ…はぁ…れおれおれおれお…

んちゅ…あーむあむあむ…あむあむあむ…

みんな辛いから…辛いことを忘れたいから逃れたくて…

あるいはもう今の人生に飽きたから記憶を消す人ばかり。

//　やんわり吐息

はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…。

//　辛い。記憶を消すということはSARAにとっては辛いことだった。

//　そのために生まれたことを今も悔い恨んでいる。

だから私はその背中を押し続けてきました。人々の記憶を消すために。

でも…あなただけは、前向きとも、後ろ向きともとれませんでした。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。あ～むあむあむ…。

ただ、変わりたいということだけわかりました。

ふぅ…ふぅ…ふぅ…。

ん…はぁ…れろれろ…れろれろ…ちゅるちゅちゅるちゅ…れろれろ…

私が恋人のように振る舞って…なにか得られるものはありましたか？

周囲の人間の目を気にせず、イチャイチャしたり…少しエッチなことをしてみたり…

（ゆったり耳舐め２０秒）

…子供の時の記憶が少しだけ私の中に流れ込んできました。

あーむ…あむあむあむ…。れろれろ…。

// だんだん正面１０ｃｍへ

漫画ばかり描いてる親戚のお姉さんとそれを目を輝かせて見てるあなた。
学校が終わると毎日友達と遊ばずお姉さんのところへ行ってました。
ふーん。そうなんや。普段どんな話するん？

// お姉さんのセリフもお願いします

『あんた、いつもうちのところに来よるけど大丈夫なん？　友達おるん？

アイドルグループとかドラマねえ。

でもそれ…ほんとにあんたが好きなもんじゃないやんね。なんでなん？
ハブられんがそんな怖いん？』

あなたはそれ以来お姉さんのところにはいかなくなりました。

大好きだった漫画もそれ以来読むのをやめましたね…。

// だんだん右耳元へ

心配したお姉さんには「もう飽きた」と伝え、自分に言い聞かせて。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

// やんわり吐息

はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…。

ん…ふふ…。こしょばいなぁ…もぉ…。
そんなに嗅いで…汗出てくるじゃないですか…。
恥ずかしいですって…。

くすくす…。ん…ふぅ…ふぅ…

え。舐めてるでしょ…。

もっと？　甘えん坊さん…。わかりました。
れ~ろれろれおれろれろ…。
れ~ろれろれおれろれろ…。

// 甘い、ふわふわな声で

めっちゃすぅすぅしてる…人が真面目に話してたのに…くすくす…。はぁ…はぁ…

いいからもっと舐めてって…
そういうことじゃないと思いますよ…人のことを気にしないって。

ん…はぁ…はぁ…。ちゅるちゅ…ちゅるちゅ…ちゅるちゅ…ん…。

きもちいいれすか？

れろ…れろれおれおろれおれおれおれおれお…

（あまく耳舐め２０秒）

ねぇ…。

そんな…好きなんですか？
私の汗のニオイ…//

好き？

どうなんですか?

//　めっちゃ嬉しそうに

ふふ…ふふふ…。そう…なんれすね。
わたしのかいでると落ち着くんですね。へへへ…もっと…ほら…

はぁ…はぁ…はぁ…こしょばい//

いえ…悪くないですよ。
私が…言ったんですもの。嗅いでって。

わたしも

あ〜む…あむあむ…ちゅるちゅちゅるちゅ…
（あまく耳舐め２０秒）

でも…かぎすぎ…//

女の子なんですからね。
すぅすぅしすぎ…。

いい匂い//　そう言われてもなぁ…。
あ〜む…あむあむあむあむ…
（あまく耳舐め２０秒）

変態…。

変態って言ったんです。変態おじぃ。

//　だんだん正面至近距離へ

まあ落ち着いてる分…興奮する人よりかはマシですけど…
でもあなたが変態であることには代わりないです。

ふふふ　。めっちゃ嗅いでる…。
はぁ…はぁ…はぁ…。甘えん坊さん…//

もっと…いいです…すって…　吸って…　ああ…。はぁ…はぁ…はぁ…//

いい匂いって…言って…

//　だんだん左耳元へ

うん…嬉しいんです…。褒めてもらえるの…。
もっと言って欲しい…。褒めて…。

はぁ…はぁ…もっと…すって　好きって言って…ニオイでもなんでもいい…

わたしが「好き」だって言って欲しいの・・。//

ん…はぁ…はぁ…はぁ…だってわたしは…モノじゃない。

れろれろろれろれろ…れろれろろれろれろ…。

生まれた時から、あなたはそうなんですかね？
甘えん坊さんなのは…変わらないんでしょうか…。

…ん//　もぉ…
おっぱいすりするしすぎです。ふふふ…。

はいはい…舐めますから…。
れーろれろれろれろ。れろれろれろれろれろ…。

いくつになっても…変わらない人っていますよね…。

２５４歳。子供。ガキ…。

もしかしたら、そんな自分が嫌だったのかもしれないですよ…。

どーですか？当たってないですか？

んなわけない？　そうですか。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

好き…。　好き／／ん…。

私も…言ってあげます…。

言ってほしそうですもの…あなた。

好き…すき…す・き…へへへ…。

しゅき…しゅきです…ちゅるちゅちゅるちゅ…れろれろれろれろ…

ええ…。
超年上で変態だけど…好きです…。
なんかほっとけない…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

／／耳をぽんぽんする。
／／めちゃくちゃゆっくり話してください。

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

はぁ…はぁ…あぁ…今すごい、お母さんしてる気分です。私。

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…。

心音…きもちいいですか？

私も…気持ちいいです。

／／だんだん正面至近距離へ

あなたがほわほわ悦んでくれて…

幸せ…。

いつもよりずっと…心がぬっくぬく…。

ほんとの恋人ではないけど…。

// だんだん左耳元へ

もしもあなたと恋人だったら、ってちょっと思ってしまいました。

あ~む…。 れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

いっときますが…リップサービスとかじゃないですよ//
あ、お口でなめなめしてるのはリップサービスですけどね。へへ。

れ~ろれろれろれろ…。 れ~ろれろれろれろれろ。

で・も…。
せっかく生まれ変わったのにこんなにママのおっぱいすぅすぅしてちゃ変わんないですね
…
くすくす…。

人を堕落させるってのも、案外面白いかも・・。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

あらら…おっぱい嬉しそうにすりすりして…ぎゅ…ぎゅ…ふふ…

変な性癖を植え付けてるなんてとんでもない。
リセッターの役割は利用者の人生が平穏に過ごせるサポートをすることですから…。

生まれ変わる人が問題起こさないように

この世がいかに素晴らしいかってことを教えてあげてるんです…。
決して…私欲じゃないですからね…いいですね？
くすくす…。

ほら、わかったらもっとすぅすぅしなさいな…。ん…//
そう…ん…はぁ…はぁ…はぁ…かいで…かいで// ん…ふぅ…はぁ// はぁ…もぉ…

ん…はぁ…はぁ…はぁ…そう…そう…。

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…いい子です。

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…。

好き好きって…明日にはいなくなるんですからね…。

でも…もっと言っていいですよ…。

// 好き好きと連呼されて悶えるサラ

はぁ…はぁ…ん…へへ…もぉ…こしょばいでしょうが…。

はぁむ…ん…れろれおれおろれおれおれおれおれおれお…あむあむあむあむ…。

よ～しよ～し…。よ～しよ～し…。

// だんだん正面至近距離へ

今度こそ見つかるといいですね。
あなたが探していた答え。

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

安心してください…。

何もかも忘れたとしても、誰のことも思い出せなくても…

全ては時間軸…過去も未来も超えて繋がっています。

いつでも…どこでも…誰とでも…繋がることができる…。

だから、安心して忘れていいんです…。

ただ、そこに有るものに『関心』を寄せればいい。

それが全ての始まりです。

// 左耳元へ

あ～む…あむあむあむあむあむ…。れろれろ…れろれろ…。

私たちを生み出した人の言葉です。

あむあむあむあむあむ…。れろれろ…れろれろ…。

耳にタコができるほど聞かされました…。

記憶を消すときには必ずお伝えするようにとのことです…。

ありがたい魔法のコトバですよ。ふふ…。

本当に好きなもの…。大切なものはなくならない。

あなたを待ってくれています。

だから、今度こそ手放さないで。

そしたら、　わたしも…わたしたちが生まれてきた意味も…。

ん…れろれろれろれろれろれろ…れろれろれろれろれろ…。